

## 岡部定一郎「福岡城寸描」(26)

### 1. 福岡城の構え

#### 二の丸

福岡城の本命を守る順序に従って、天守閣・天守閣台から本丸台地へ、本丸台地の次の重要台地を二の丸といい、多くの門や櫓によって守られている。

福岡城が国の史跡に指定されている要因は、二の丸台地を構成する三の丸台地上に、ぐるりと高造りされている石垣造りの素晴らしさにある。

南二の丸(南丸)に指定地内唯一の重要文化財である多聞櫓、天守閣の南面石垣下の二の丸大地には、武器庫の長屋を配し、北面の扇坂御門の上の広がりには、福岡藩領52万石の経営を行う各役務屋敷があった。更に東へ向かうと東二の丸があり、総面積は、約5,000坪(16,500m<sup>2</sup>)である。

